



みえの子

「可能性に挑戦！」

～肯定的な関わりの中で、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

☆今年度は三江小学校創立150周年！ 保護者・地域の皆様のご協力、ありがとうございます☆



全力でやり遂げた秋季運動会！

9月16日（土）、天候にも恵まれ令和5年度の秋季運動会を実施しました。大変、暑い中でしたが、保護者の皆様、地域の皆様には、最後まで、子どもたちに温かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。運動会のスローガン「心を1つに あきらめないで やりきろう」を達成しようと、子どもたちは練習の時から、毎日、目と耳と心と体を存分に働かせて取り組んできました。その成果を堂々と表現してくれたと感じています。勝っても負けても転倒しても最後までやり抜く姿。負けてしまっても相手をたたえる姿。下級生にそっと教えてくれている姿。声を出して応戦する姿等々。三江の子どもたちの素晴らしいところを皆様に見ていただけたと思います。こうした素晴らしい姿を、今後の学校生活に活かし、さらなる可能性に挑戦していけるよう、教職員一同、子どもたちを支えていきたいと思っています

また、テント撤収等片づけにご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。



本年4月18日実施「全国学力・学習状況調査」の結果の概要とこの調査から見える本校の課題、それに対する今後の取組（対応等）についてお知らせします。「国語」「算数」による、それぞれの「知識と活用を一体的に問う」問題と「児童質問紙」による、「学習習慣と生活習慣の全般について問う」質問が実施されました。

<結果の概要>

本校は「国語」「算数」とともに、正答率の全国平均との比較では「努力が必要」という結果でした。

<各教科における本校の課題（●）と今後の取組>※顕著なものを抜粋しています。

☆国語 ●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

●目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。

<今後の取組（対応策）>

◎伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフを用いるとよいかを考える場を設定する。

◎自分の立場や考えを明確にし、理由とともに書いたり5W1Hを意識しながら文章を書いたり、条件付け（字数制限・指定された言葉の活用等）された文章を書いたりする活動を取り入れる。

◎読書の習慣化を図り、様々なジャンルの文章や長文を読む。

☆算数 ●除法と筆算について、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考察する。

●日常生活の場面と関連付けて、百分率で表された割合について理解する。

<今後の取組（対応策）>

◎具体物や図と式や商を関連付けて考察する場を設定する。

◎日常生活の場面と学習課題をつないで考える。

◎順序を表す言葉や算数用語、理由を表す言葉を使って、筋道立てて説明する活動を取り入れる。

<児童質問紙による調査結果>※顕著なものとして、以下のようなものがありました。

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと、すべての児童が捉えている。

○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると回答した児童の割合は、全国の割合より高い。

○今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合は、全国の割合より高い。

●毎朝同じ時刻に起きたり、毎晩同じ時刻に寝たりするという回答をした児童の割合は、全国の割合より低い。

●学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますかという質問に対して「全くしない」と回答した児童の割合は、全国の割合より高い。

学校では、以下の点について大切にしていまいます。ご家庭でもご協力をお願いします。

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん・省テレビ」等生活リズムを大切にしましょう。
- ② ネットにつながる携帯・スマホ・ゲーム機等についての「家庭での約束」をつくって、しっかり守るようにしましょう。
- ③ おうちで「本を読む時間」「学習する時間」をつくりましょう。

第48回兵庫県小学生陸上豊岡大会

9月23日(土)に代表選手が豊岡大会に出場しました。
最後まであきらめず競技に真剣に向かう態度はとても立派でした。（3位以上を記載）

6年生男子100m走 中村 颯太 第2位

6年生女子100m走 伊地智穂香 第3位

